

令和元年度 第2回学校運営協議会 議事録

日時 令和元年10月28日(月) 15:40~16:40

場所 校長室

1. 開会

2. 校長挨拶

①工科高校改編の進捗状況について

3. 事務局報告

①教頭より「学校経営計画及び学校評価」と「佐野工科高校地域連携」について(別紙)

②各分掌・系より(別紙) 生活指導部・進路指導部・保健人権部・総務部

4. 全体協議

目標達成、課題解決に向けた取組について

○学校経営計画と学校評価について、進捗状況より全体的に順調に進んでいると思われた。学校パンフレットを新しくするなど意欲的に取組まれている。経営計画中の学習指導推進の項目にある評価指標で教員授業見学数250回というのほどどのように数えているのか?

Ans. 延べ人数です。年間2回ある授業見学週間に他の教員の授業を見学に行くというもので、教員約80名が1人4回見学することを目標にしている。授業見学シートの下部を見学報告として切り取って教頭へ提出し、授業者へのコメントは直接見学者から渡すことになっている。

○中学校では支援が必要で支援学級に入級している生徒が、次の進路を決めるときに工科高校を選ぶ場合もあるが、佐野工科高校では現在どれぐらいの支援対象生徒がいるのか?

Ans. 個別の教育支援計画を作成している対象生徒は3年生6名、2年生8名、1年生は0である。要望があれば計画作成の対象になるが、今年度1年生のように高校に入ってからではできないことなら支援計画をはずしたいと考える生徒、保護者もいる。支援計画をもたない生徒でも困っている状況があれば、必要に応じて各教科担当教員の合理的配慮による支援がなされている。支援チームの教員はそのような生徒も見守り支援として支援(計画作成)対象生徒とともに考査後に各教科や担任からの聞き取りを行うなどして状況把握や会議での情報周知を行っている。

○支援対象生徒の進路決定はどのような形で行われているのか?

Ans. 現在のところ、本人の希望により、他の生徒と同様の学校斡旋就職や進学など様々な進路を選択している。今年度、障がい者手帳を使って就職している生徒はいない。現在までに発達障がいに関する手帳での就労も行った例はない。

○支援対象生徒と他の生徒との関係性はどうか?

Ans. 特に支援があるなしを報告するわけでもないが、周囲の生徒は状況を理解してあたたかく見守る様子がある。

○分掌報告の内容より、日々入力についてももう少し詳しく聞きたい。

Ans. 日々入力は生徒の授業出欠状況をその日ごとに行うもので、そのメリットはPC上でリアルタイムに状況を知ることができるということ。教員は個々にPCがあるので、システムに入力することはそれほど難しいことではない。

○いじめチェックアンケートで懇談生徒延べ73件というのはどのような対応で行っているのか？

Ans. チェックシートの質問項目に「いじられていることはないか」「クラスの中の居心地はどうか」などがあり、居心地の回答で「悪い」や「とても悪い」のチェックがある生徒や気になる記入のある生徒に対して各担任や保健人権担当者が生徒に懇談をおこなった。今年度2回行っており、2回目の人数が増えている。

○再編整備計画中の1,000万円の計上経費についてどのような計画か？

Ans. 「ものづくり LABO (ラボ)」を整備し、3Dプリンターのように簡単に創作が行える機械を要望している。DIYに近い設備・機械などを設置するイメージで、単価の安いものを数多くそろえる方向で計画している。

○特色化の中で、「AIに奪われない力」という文言があるが、「AIを使いこなす力」のほうが良いのでは？

Ans. PTメンバーで考えてきたコンセプトであり、教育庁からの指示ややり取りの中で使っている文言であるのでここから外に出るものではないと考える。

○進路指導の中で教員をめざして、佐野工科高校へ戻ってくるという状況はあるのか？以前、機械科だけでも卒業生の教員が20～30名もいた時があるので、母校愛に燃える生徒が増えていくのいいなと思う。

Ans. 実際に教育実習生は毎年受け入れており、期待している。

○新制服では「女子がスカートでなければならない」という条件ははずされるのか？

Ans. 今回の改訂の主旨はそもそもクラスに8%存在するといわれているLGBTの生徒対応にもできるように考えてきたので当然検討している内容である。組み合わせの型について「女性タイプ」というのを「Aタイプ」「Bタイプ」ではというような表示にするか、また、ブレザーのボタンの合わせをどうするかなど検討している。

8. 校長挨拶

9. 閉会

・その他、連絡事項 第3回 昨年度は2月 同様の時期に日程案内をして調整する。